



Heroldo de HEL

N-ro 81

1999 aŭgusto - oktobro

ORGANO DE
HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

北海道エスペラント連盟

053-0844

苫小牧市宮の森2丁目 18-18 星田 淳 方

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

ĉe Acuŝi HOŜIDA

Mijanomori 2-18-18, TOMAKOMAI

053-0844 Japanio



特大号

*Antaŭkongresa
kurso gvidata
de Hortensio*

*Prelegoj en
la 83-a
Esperanta
Kongreso de
Hokkajdo*



《 ENHAVO 目次 》	
Raporto pri la 63-a Esperanta Kongreso de Hokkajdo	
第63回北海道エスペラント大会の報告	
KABAYAMA Yūsuke 樺山 裕介	18~20
	3~9
Letero de junulo, kiu venis al EKH	
道外参加の大学生からの便り	9
Mesaĝo al nia kongreso	
道大会へのメッセージ	
Aleksandr TITAJEV (Prezidanto de Vladivostoka Esperanto-klubo "Pacifiko")	
アレクサンドル=チターエフ (ウラジオストック・エスペラントクラブ「パツィフィーク」会長)	10
Nuntempaj rusaj knaboj	
ロシアの少年たちの今	
Ivan ANIKEEV イワン=アニケーエフ	11
Mia vojaĝo en Germanio kun Esperanto - la 84-a UK en Berlino	
私のエスペラント・ドイツ旅行	
第84回エスペラント世界大会 (ベルリン)	
KANAMORI Yosiko 金森 美子	12~13
Memorfotoj de f-ino SNARBERG Keiko	
スナールベリ啓子さん来訪	13
La 2-a Azia Kongreso: Skizoj de Vjetnamio	
アジア大会・ベトナム雑感	
GOTÔ Yosiharu 後藤 義治	14~15
Raporto pri KS 18	
Kumuna Seminario に参加して	
MANABE Tosi-yuki 真鍋 俊行	16~17
"Esperanto" en ainalingva ĵurnalo	
アイヌ語新聞にエスペラントの紹介記事が載りました。	
JOKOJAMA Hirojuki 横山 裕之	18~20
Ĝis sufiĉas <poemo> これで十分 <詩>	
Nanao Sakaki なのお さかき	21
Tannu Tuva アジアの奥地へ	
AMAGATA Yosihiko 天方 良彦	22~23
De Nagoya al Hakodate ~ persona historio	
名古屋より函館へ ~ 回想と夢へ	
MITUISI Kiyosi 三ツ石 清	24~25
De Hakodate al Nagoya 函館より名古屋へ	
IWAI Masahisa 岩井 正久	25
Danke ricevitaj 受領郵便物	
HOŠIDA Acuŝi 星田 淳	26
TTT-paĝo: Registro de renovigoj	
ホームページ更新記録	27
Funebro: s-ro KIMURA Kimiharu forpasis	
木村喜壬治さんを悼む	
KODAMA Hiroo 児玉広夫	28~29
Raporto de la 1-a komitata kunveno de HEL 第1回委員会報告	
Raporto de la 2-a komitata kunveno de HEL 第2回委員会報告	30
Afiŝo: Salono de Esperanto	
エスペラント語を勉強する仲間を募集中	32



marstelo



verda insigno

第 63 回北海道エスペラント大会報告

Raporto pri la 63-a Esperanta Kongreso de Hokkajdo

樺山裕介 KABAYAMA Yu^suke

大会テーマ「エスペラントは世代を超えて」－国際高齢者年にあたって－

今年 1999 年の北海道大会は、直前講習会も含めると、9月 20 日(月)から 9月 26 日(日)まで、まる一週間つかって札幌で行われた。

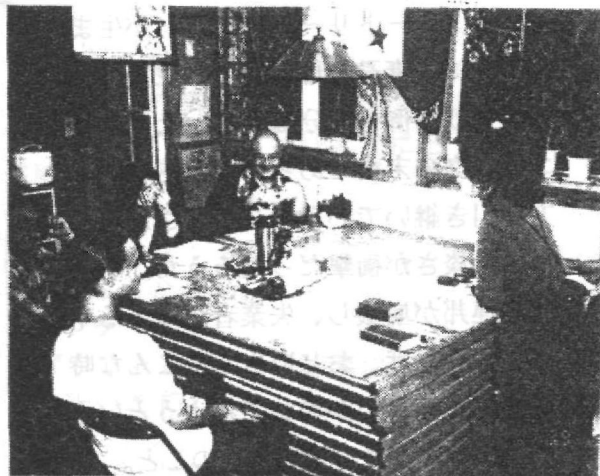


直前講習会は、崔 允姫(チェ・ユンヒ、エス名 Hortensio くあじさい)さんが指導した。残念ながらエスペ란チストでない市民の参加がなかったので、会場のロンデタージョに集まれる人が集まって勉強した。

9月 23 日(木)秋分の日には、青年エスペ란チスト交流会があり、私(樺山)はこの日から大会に参加した。本州からは、日本青年エスペラント連絡会の五十棲 矯(いそずみ ただし)

さんがただ一人来てくれた。彼とは、日韓中青年セミナーで面識がある。20 代の方は五十棲さんだけで予想通り「青年」交流会とは名ばかりのものとなる。少年から定年を過ぎた人まで、その間はほとんど年齢不詳だ。しかしそんなことは重要ではない。「先輩エスペ란チストから何を学びとるか」というテーマがあらかじめ定められていた。三澤正博さんが、講義の中でエスペラントを紹介すると、学生の多くは興味を抱いてくれるという実績を述べた。あとはエスペラントを知って学び始めたきっかけを皆が順番にはなすところにとどまった。

次の日は日本青年エスペラント連絡会機関紙“La Junuloj”発行の手伝いをする。私を含めこの連絡会の賛助会員(30 才以上で、青年ではなくなったが若者たちを温かく見守り、金も出すが口も出す人たち)は北海道に 6 人おり、その内 5 人が前の日のその場にいた。それだけ関わりは深い。“La Junuloj”にはラクガキ頁があり、そこにい





た人のほとんどがそのラクガキに熱を上げた。本州以南の善良な読者にどのような印象を与えるか愉しみである。

9月25日(土)は札幌市民会館でエスペラント祭。実は『Heroldo』前号で、肝心の会場が欠けていた。責任は編集の私にある。この場を借りてお詫び申し上げる。台風の影響が心配されてが、この日の天気は静穏だった。ユーゴ関係のパネルとハノイでのアジア大会やベルリンでの世界大会でのスナップが展示された。午前「現代お年寄り事情」の題でのパネルディスカッションが催された。崔允姫さんが韓国の、セルゲイ アニケーエフさんがロシアの、北海道ウタリ協会の小川隆吉さんがアイヌ民族の、戦前からのエスペランチストで社会福祉法人の理事長を勤めている桑原一さんが日本の、それぞれのお年寄り事情を報告した。

崔女史の話では、儒教道徳の根強い韓国でも老人や夫を尊ぶ風潮に変化があらわれ、ある老婦人が夫に対して起こした離婚訴訟が全国からの注目を集めたという。それを聞いて聴衆のひとりの某氏が動揺しはじめ、妻君の方を振り返っては苦笑いしているのを私は目撃している。

セルゲイさんの話はロシア革命前まで遡る。ツァーリ体制ロシアでは、一般家庭でも家長が偉く、妻君への暴力もあたり前だったそうだ。(また聴衆の別の一角で波が立った。) 共産国家になってからは一転して男女平等が常識となった。その代わり、親戚内での成員相互の関係は薄れ、子供の保育や老人の養護は共同体や国が保障してやることになった。セルゲイさん夫婦にはじめての子供(五月合宿に参加したことがあるドミートリー君である)が生まれる時に、妻君の母親から、生まれてくる子の面倒を自分は見ないと言われ、コサックの末裔であって伝統的な考え方を引き継いでいるセルゲイさんにはその冷淡さが衝撃だったそうだ。ソビエト連邦が崩壊し、失業者が増える中で、もう一度、おじいさんにこんな時どうしたらよいか尋ねてみようという回帰現象が起こっているとのこと。

セルゲイさんの話はロシア革命前まで遡る。ツァーリ体制ロシアでは、一般家庭でも家長が偉く、妻君への暴力もあたり前だったそうだ。(また聴衆の別の一角で波が立った。) 共産国家になってからは一転して男女平等が常識となった。その代わり、親戚内での成員相互の関係は薄れ、子供の保育や老人の養護は共同体や国が保障してやることになった。セルゲイさん夫婦にはじめての子供(五月合宿に参加したことがあるドミートリー君である)が生まれる時に、妻君の母親から、生まれてくる子の面倒を自分は見ないと言われ、コサックの末裔であって伝統的な考え方を引き継いでいるセルゲイさんにはその冷淡さが衝撃だったそうだ。ソビエト連邦が崩壊し、失業者が増える中で、もう一度、おじいさんにこんな時どうしたらよいか尋ねてみようという回帰現象が起こっているとのこと。





小川さんは、子供たちにアイヌ民族のイナウ（木幣）の削り方や、北方民族の模様切紙の作り方を教えることで、現代文明が失っている心を伝えている状況を語った。

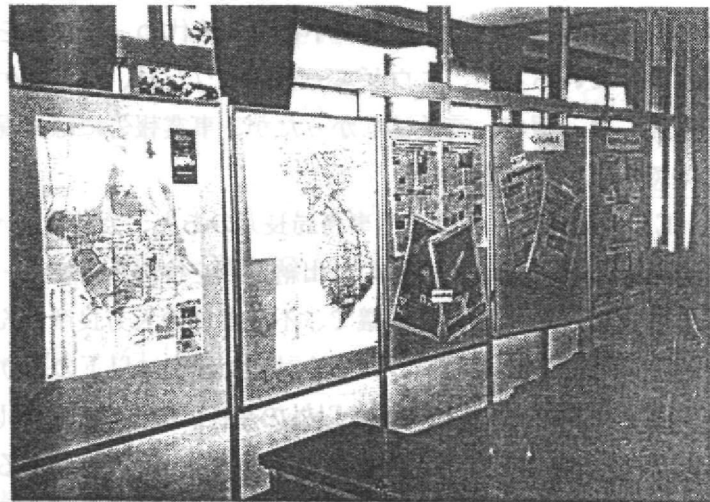
桑原さんは、1973年に老人医療費が無料になり、また1983年に有料になって、その負担が徐々に拡大されていく歴史を語った。老人

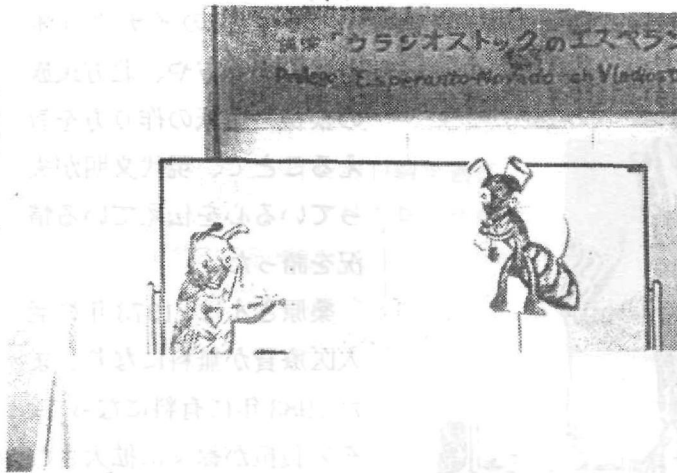
医療費無料化の公約が大きく票を動かした1971年の札幌市長選の裏話が面白かった。

午後は、金森美子さんの指揮で、皆で「カエルの歌」の輪唱をしてはじまった。次にVinberojの人形劇で、イソップ物語から「太陽と北風」「蟻ときりぎりす」の公演。演者が眼鏡を忘れてきて台本が読めなくなるというアクシデントも、かえって観客にうけた。

最後にセルゲイさんの講演がプログラムをしめた。題は「私はなぜエスペランチストになったのか」。セルゲイさんたち沿海州（極東）の人々にとって日本は身近な隣の国である。そのセルゲイさんが初めてエスペラントを知ったのは、ソ連のまさに正反対の極（西）で、日本人ツーリスト（美人）とラトビアの人がエスペラントでしゃべっているのを、日本語通訳として付き添っていた学生セルゲイさんが居合わせた時であった。スターリンによるエスペラント弾圧の記憶覚めやらぬソ連の軍事都市ウラジオストックでのセルゲイさんのエスペラント活動はさまざまな困難を伴った。そのウラジオは、ザメンホフと会ったこともある初期のエスペランチスト、ポストニコフが二葉亭四迷にエスペラントを教えた、日本エス史の曙の地である。

そしてセルゲイさんはいま札幌にいる（居住は函館）。その歴史の巡り合わせの妙をセルゲイさんは語りたかったのだが、ここに困った障害が持ち上がった。この講演での日本語通訳をやった樺山がちゃんと通訳できず、セルゲイさんは同じ個所を繰り返し話さなければならないことが続き、聴衆から助けられてやっと話





がつながるあんばいだったのだ。

樺山が途中で通訳を降りたので講演は終わりまで続けることができた。セルゲイさんや、幾人かの方が私をねぎらってくれたのは有り難かった。周りに迷惑をかけようとも、いい経験はしておくものと思った。なお、午前のシンポジウムの通訳は宮沢直人さんが務め、こちらは慣れたものだった。

場所を変えての懇親会はきれいな中華料理店で行われた。

9月26日(日)にかでる2・7で連盟総会が開かれた。朝方、激しい雨に見舞われたが、雨は止んだ。後藤義治さんが開会宣言をし、議長に児玉広夫さんが、副議長に馬場恵美子さんが選ばれた。来賓として崔允姫さんがあいさつ。全ての報告・審議・採決に先立ち、全員で亡くなられた会員の伊藤直樹さんと木村喜王治さんのために黙とうを捧げた。そして、昨年と一昨年は歌わなかったLA ESPEROを斉唱し本題に入った。

まず、加盟している地方会からの挨拶・活動報告がなされた。札幌エスペラント会(SES)からは内部で4つのグループがあり、それぞれが活動していること(①聖書輪読②話し方を学ぶ会③女性たちの会話グループ④初心者講習会)、藻岩山登山、春と秋の勉強会(講師:星田 淳さん)があったことを後藤さんが報告した。SAT札幌からは宮沢さんが、SAT本部へ労働者軽視の傾向に異議を出し、論争中であると報告した。苫小牧エスペラント会(TES)から星田さんがアイヌ語シンポジウムや、ユーゴ空爆下の電子メールの記事の広まりについて報告した。小樽からは前田幸一さんが週1回の活動について報告。函館からは、函館ロンドの会員が総会に不在のため代わって事情を知っている宮沢さんから、月2回集まっていること、エウゲニー君、イワン君、両アニケーエフ兄弟が手伝っていることを報告した。報告、言及はなかったが、事業報告には札幌稲北高校エスペラント同好会についても記載がある。

HEL事業報告(佐藤英治事務局長)のあと、会計報告(後藤さん)があり、会計監査の児玉さんから通帳、大会等のの出納書類を検討した結果、適正であり、不正・不審は無いことが報告された。続く審議で、不在参加の天方良彦さんから、星田さんへの委任状の委任事項に書かれた意見について検討した。文は以下の通りである。

「議案書1の広報・宣伝の方法以外の全任。広告宣伝に関し、特定の左翼的市民運動の集まりのみでEを宣伝することに反対する。(SAT札幌がする事は、いいとして)(南京1937)HELも肩入れする事には反対する。また、朝日、毎日新聞のみで、チラスイを配布した理由を伺いたい。なぜ読売を対象にしなかったのか?こんな事では、エスペラント=左翼市民

活動との誤解を受けかねない。」

(南京 1937)とは、「南京 1937」上映会で道大会チラシを 1000 枚配布したことを指す。これに対し、当事者(複数)から、「南京 1937」上映会でのチラシ配布は、チラシをまかせられる信頼できる所が自分の関係するところではそこであったこと、正反対の考えであろうと、自由主義史観の団体でも信頼関係があれば宣伝をお願いしたいこと、新聞の件は、部数の多い読売、北海道新聞では代金がかかりすぎるため、部数の少ない朝日、毎日に限らざるをえなかったこととの、返答があった。

事業報告とは別に、1997 年の第 61 回道大会(札幌)において、招待されたが大会に参加せず、日本に入国したまま帰国しなかった Hamidreza HAGHDOUST 氏について、当時の大会実行委員長だった佐藤さんから報告があった。現在彼は行方不明であり、今までの経過報告を日本エスペラント学会、関西エスペラント連盟、Iranan Esperantista Junulara Organizo(IREJO)へ、実名を明らかにして送付したことを公表した。

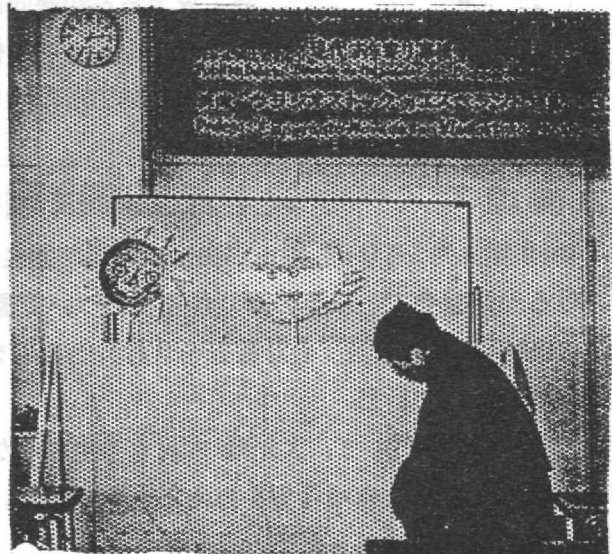
「99 年度は、各サークル・各専門部・事務局などが自立性を高め強調しあう体制に向かった。エスペラント支持者の拡大には成功していないが、全体としてバランスのとれた活動の方向が見えてきた。」という文に始まる事業報告と、会計報告、会計監査はまとめて拍手多数で可決された。

1 時間の休憩をはさんで、活動方針(案)と 2000 年度予算(案)が提案された。不在参加の川合由香さん(委員:教育・研究部)から送られた「あなたの Fako(j)と Nivelu を教育・研究部へ」と題された意見書を検討した。長文だが、要約すると HEL 会員の得意分野(Fako)と学力(Nivelu)を自己申告で教育・研究部が把握して翻訳サービスなどの時に活用したいということらしい。川合さんがやる気なら、やってもらおうという事で異議無し。(なお、総会直後の第 1 回委員会で、教育・研究部は研究・教育部と改称された。)

副委員長と会計委員をそれぞれ「1 名」から「若干名」に改正する案が可決され、連盟業務への交通費を規則を定めて連盟から支給する「旅費規定」が続いて可決された。

次に「北海道エスペラント後援会」の議案について討議した。目的の一つとして書かれた「極東地域、経済的に困難な状況におかれているエスペランティストへの援助」について議論が紛糾し、委員会へ差し戻すことになった。活動方針案は後援会の立ち上げを前提としたものであったため、関連する箇所を修正した上で新年度予算案と併せて可決された。

前総会で継続審議となった「運動活性化プロジェクトチーム提案」については、項



目の一つ「連盟機関紙を La Movado とし、関西、東海、中国、四国、九州各連盟との共同機関紙とする」項を提案者が撤回し、残りの6項目（対アジア、連盟加入促進パンフレット、事務局専従員、極東ロシアでの合宿、日・エス医療用語対訳対話集、エスペラントのみの生活体験のための企画）を将来の課題として残した。

10分間の休憩を入れ、ウラジオ訪問団が現地の団体に提案する議定書について検討した。総会前の委員会で行き違いがあったため、委員会提案ではなく国際部提案である。星田さんと後藤さんの反対意見書を合わせてたたき台とし、今総会で最も熱い議論となった。論争点は、ウラジオ側が北海道側からの援助（見積45000円ぐらいを上限〈国際部発言〉）で機関紙を発行して北海道側と交換するようにさせる個所だ。結局、ウラジオ機関紙への資金援助の文を削除する形で各提案者の修正が一致した。修正した議定書を委員会で決定してウラジオへ持っていくことになった。

新役員選出の議題に入る前に、プロジェクトチーム提案の「事務局専従者」の件に関して、事務局員の鈴木佳子さんが発言。現在事務局専従者のない体制で、なんとか事務処理をしているのが現状。今後事務局業務の拡大が予想され、毎週土曜日の事務局作業日には多くの有志の方の積極的なお手伝いをお願いしたい、と訴えた。

新役員は、総会での立候補者がいなかったため、委員会提案の名簿通り賛成多数で可決

された。昨年度の委員が全て留任し、新たに前田さんと天方さんが加わった。会計監査は馬場さんと松野元さんになった。委員長は引き続き星田さん、副委員長が後藤さんと阿部映子さんの二人になり、事務局長がやはり引き続き佐藤さんである。

星田委員長から児玉さんを顧問に推す提案があった。（亡くなった木村さんは連盟の顧問でもあった。）児玉さんが固辞のことばをエスペラントで少し口にしたが、星田動議への賛成多数で児玉さんが顧問に加わることになった。

来年度の大会を小樽で開催することを可決し、議事が終了した。最後に LA TAGIG^O を皆で歌って散会した。



北海道エスペラント連盟総会議決事項

1999年9月26日、札幌市中央区において開催された第63回北海道エスペラント大会における連盟総会で、以下の通り各議案について審議されました。

1. 99年度事業報告（会計報告を含む）：次項をを追加し可決承認された。

議案書 P1 7行目

「つい先日9月21日、大先輩 木村喜壬治さんが90歳で亡くなりました。木村さんの生涯は私たちに大きな希望を与えるものでした。ここに両氏のご冥福を願い、彼らの志を引き継ぐことを確認したいと思います。」

2. 2000年度方針（予算を含む）：以下の修正を経て可決承認された。

議案書 P4

11~12 行目 「今年度より北海道エスペラント後援会を組織しますからその会員を支持者として、」 削除

13 行目「後援会員」→「支持者」に訂正

18 行目「北海道エスペラント後援会を立ち上げ」→「~の立ち上げを検討し、」に訂正

3. 次回大会開催地、4. 規約改正(案)、及び5. 北海道エスペラント連盟旅費規定については原案とおりに可決承認された。6. 北海道エスペラント後援会(仮称)及び7. ウラジオストックエスペラントクラブとの議定書は委員会に差し戻された。8. 運動活性化プロジェクトチーム提案については、「連盟機関紙を La Movado とし、関西、東海、中国、四国、九州各連盟との共同機関紙とする」項を提案者が撤回、残りの6項目は継続審議となった。以上、報告する。 大会書記 樺山裕介

大会参加者数 36名 不在参加 11名

賛同人(敬称略・順不同)

国労札幌闘争団、天野雅智、これからや、ヌーベル・フロンティア

*今回の大会に賛同金をいただいた方々です。誌上を借りて御礼申し上げます。

HELの皆様

Letero de junulo,
kiu venis al EKH
道外参加の大学生からの便り



五十棲 篤
神奈川県厚木市
岡田5-11-6-203
〒243-0021

Saluton k dombegon por viaj bon-
koraj helpoj ĉe la lasta eldankunsido.
Ĉar en Sapporo mi renkontiĝis kun
multaj interesaj homoj kaj eksciis pri
la unika agado de HEL. mi ekvolis
teni personan rilaton kun HEL, ne
nur oficialan. Tial mi petas de vi,
ke bonvole informi min kiel mi povas
iĝi membro de HEL, se eblas.

Ĉion bonan al vi!

ISOZUMI TADASI

(isozumi@phiz.e.u-Tokyo.ac.jp)



いそづみ 篤
↑五十棲 篤
(某人妻HEL会員画)

売価70円 再生紙はがき

Mesag^o al nia kongreso 道大会へのメッセージ

Aleksandr TITAJEV (Prezidanto de Vladivostoka Esperanto-klubo "Pacifiko")

アレクサンドル=チターエフ



(ウラジオストック・エスペラント・クラブ「パツィフィーコ」会長)

Saluton al la partoprenontoj de la 63-a Hokkajda Kongreso de Esperanto

Karaj japanaj gesinjoroj, karaj gesamideanoj, karaj geamikoj!

Je la nomo de For-Orientaj Esperantistoj de Rusio mi salutas vin okaze de la 63-a Hokkajda Kongreso de Esperanto!

Saluti vin por ni estas vere agrable, ^{car} via regiono estas tre proksime al nia Primorjea regiono, via teritorio estas plej malproksima de la centro de Japanio, anka~u la nia estas unu el la plej malproksimaj forde la centra Rusio.

Tiu fakto instigas nin tre aktive kunlabori diversflanke, plejparte sur Esperanto-tereno. Jam dum la lastaj kelkaj jaroj viajn Kongresojn de Esperanto partoprenas la Vladivostokaj esperantistoj, precipe estas memorinda la pasintjara alveno kaj aktiva partopreno de niaj reprezentantoj dank' al via invito kaj grandega financa subteno, kiam estis subskribita la konsento pri la ^{gemeli}go de la du Esperanto-komunumoj: la Hakodatea kaj Vladivostoka.

Eventuale, anka~u ^{Ci-jaro} i^{gos} memorinda por la amba~uaj niaj Esperanto-organiza^{oj}, la Hokkajda kaj la Primorjea, ^{car} la karavano de viaj esperantistoj partoprenos la 3-an Internacian Studentan Kongreson, enkadre de kiu funkcios la sekcio "Interlingvistiko kaj esperantologio", kiu pasos en Vladivostoko la 25-29an de oktobro.

Tiu aran^{go} ne estas la lasta Esperanto-evento en Vladivostoko en la fino de la 21-a jarcento. Venonjare, en la lasta jaro de la nuna jarcento kaj jarmilo okazos 3 interesaj aran^{goj}, al kiuj estas invitataj esperantistoj:

1. La Tagoj de Slava Kulturo, la 23-28an de majo, 2000
2. La Tagoj de Vladivostoko, la 28-an de junio-3an de julio, 2000
3. La Internacia Simpozio "Konscienco kaj Scienco: rigardo al Futuro", la 14-16an de septembro", 2000

Ni estos ^{ciam} ^{gojaj} vidi vin, niajn karajn japanaj amikojn en Vladivostoko.

Dezirante al vi bonfarton, sukcesojn kaj fruktodonajn rezultojn,

Sincere via

Aleksandr TITAJEV, prezidanto de Esperanto-klubo "PACIFIKO",
Vladivostok, RUSIO

これは、Joĉjo(イワン君)が道大会で時間が無くて話すことのできなかつた原稿です。

Joĉjo volis paroli tion ĉi en nia kongreso, tamen ne troviĝas la ŝanco. Jen lia manuskripto.

Bonan tagon! Mia nomo estas Joĉjo. Mi estas filo de Sergej Anikeev. Mia temo iomete diferencas. Mi volas paroli pri situacio de junuloj. Tio estas intereso de junuloj.

Mi jam loĝas en Japanio dum 3 jaroj, kaj vizitis Rusion nur antaŭ unu monato. Kaj pro tio mi nenion sciis pri nuntempa intereso de junuloj.

Do en Rusio knaboj, kiuj estas samaĝa kiel mi, havas diversajn interesojn, sed laŭ mi ĉefa intereso povas dividiĝi en tri grupojn.

Unua grupo konsistas el la knaboj, kiuj ŝatas muzikon. Ili kolektiĝas kaj kune aŭskultas muzikon, kaj ludas gitaron. Ekzemple mia amiko tre ŝatas ludi gitaron, kaj li eĉ faras sian gitaran muzikon. Mi pensas ke tio estas la plej bona.

Knaboj de dua grupo ne ŝatas muzikon, al ili plaĉas komputila ludo. Ili tute ne helpas al siaj gepatroj, nur manĝas, ludas kaj dormas.

Kaj fina grupo konsistas el tiuj, kiuj ne ludas gitare, ne ludas komputilan ludon. Ili satas sporton, kaj ĉiutage ludas diversajn sportludojn. En Rusio tre ŝatata sportludo estas basketbalo, kaj pro tio ekzemple en Vladivostoko ĉiu korto havas basketbalan ringon.

Do laŭ mi tiuj tri estas ĉefaj intereso de junuloj en Rusio.

Sed ankaŭ en Rusio ankaŭ estas tiuj knaboj, kiuj, krom ludi, ŝatas fumi. Ofte tiaj knaboj fumus kutiman cigaredon, sed ankaŭ estas tiuj, kiuj uzas narkotaĵon, ekzemple kokainon. Mi pensas kaj scias ke tio estas tre malbona, kaj mi estas kaj estos kontraŭ tiu afero.

Dankon pro aŭskulto.



私のエスペラント・ドイツ旅行 - 第 84 回エスペラント世界大会 (ベルリン)

Mia vojaĝo en Germanio kun Esperanto - la 84-a UK en Berlino

金森 美子 KANAMORI Yosiko

3 年続けて世界エスペラント大会 (ベルゲン、ウィーン、ヴァレンシア) に参加して以来、5 年振りにベルリン大会に出席しました。ドイツ行きを決意した理由は色々ありました。

1. 7 年間文通してきたポーランドのエスペランティスト S 婦人に会いたい。出来れば約束のダンスもしてみたい。
2. ウィーン大会の時味わった合唱の感激をベルリンでも味わってみたい。
3. コンベルサチア ロンドに出席してみたい。
4. あこがれのノイシュバンシュタイン城やベルリンの壁、ブランデンブルク門を見てみたい。



la kastelo Neuschwanstein

1. S 婦人とは、ベルゲン大会で知り合い翌年のウィーン大会の時、お互いの宿を訪ねて歌ったり、森を散歩したり、ダンスをしたりしました。その時、全く踊れない私を指導してくれ、次に会う時には踊れるようにしていく約束をしたのでした。そのため、私は夫と 2 年前からダンスを習い始めました。昨年彼女は私にポーランドに来るように誘いましたが、私は「一人で行く勇氣はない。ベルリン大会で会いましょう」と返事を出しました。しかし、彼女はベルリン大会に参加していませんでした。バンケードの後のダンスの時、彼女が現れるのではと期待しましたが

だめでした。折角ダンスを習って来たのだから主人と踊ってみようかと思いましたがアリランダーノイは私たちの知らない動きで大層楽しそうに踊るのでただただ感心して見とれていました。

2. ウィーン大会の時、「美しく碧きドナウ」を四部合唱し、横浜の婦人と友達になりました。その彼女と 7 年振りにベルリンで合唱することになりました。ウィーンの時のメンバーが数名いました。2 年前に日本旅行に来て私の家に 2 泊したオランダの婦人も合唱練

習に来ていました。練習場所が毎日変わると、ベテランの指揮者が病気のため、ネ エス ペランティストの青年指揮者になったため、少し難儀をしましたが、2 曲をまとめ上げて、最後の夜に合唱することができました。

3. 会話教室の方は、遠足と合唱の合間をぬって2 度だけ出席しました。指導者は生き生きしていて、内容はよく工夫されていました。例えば「自分と同じ大きさの手の人を探そう」と指示して皆とコミュニケーションをはかったり、文章を身振りで表現し、何を表しているかをエス語で答えさせる……等でした。しかし、出席者のエス語力は相当はもので、なかなかついていけませんでした。先輩から「チェ・クルソの方が向いている」と助言をいただきました。

4. あのがれのノイシュバンシュタイン城は、木々の間から見上げるようにして側面だけを見ることが出来ました。写真にあった美しい全容は、裏手に登って見下すようにしなければ見えないそうです。ブランデンプルク門は、さっぽろ雪まつりに大雪像として作られたのを見ていましたが、一度本物を見たいと思っていました。実物は立派で大きく色々な彫刻がほどこされていました。10 年前は東西分断の重要地点として近づくことができなかったのですが、私は門の近くで昼食代りに買ったハンバーガーを暢気にいただいてきました。

ベルリンの壁はあちこちに保存されていて、当時の苦悩や叫びが迫ってくる思いでした。初めは鉄条網だったのが、5 年目には1,2m の高さの壁になり、しまいには6m の高さになって30 年以上東西を分断したのでした。チャーリー博物館には、この壁を越えようとした人達の記録がいっぱい残されていました。一方ベルリンでは、東西ドイツ統合の首都としてスタートする準備が盛んに進められていました。

SNARBERG Keiko venis urbon Sapporo

Rondetag^o tiel kiel la pasporta serbo
bonvenigis s-inon SNARBERG Keiko kaj
s[^]ian fianc^on de la 5a g[^]is la 12a
en au~gusto.



↑ Maldekstra f-ino Keiko. Dekstra estas
ŝia amikino f-ino Kajsa. Dum bankedeto
ĉe Rondetago.
(ジンギスカン)
← La plej maldekstra estas f-ino Keiko kaj
malantaŭ ŝi staras ŝia fianĉo f-ilo Per.
Ĉe la manĝejo-trinkejo AZIYA en Otaru.

アジア大会・ベトナム雑感

La 2-a Azia Kongreso: Skizoj de Vjetnamio

後藤 義治 GOTO Yosiharu

第2回アジア・エスペラント大会はベトナムのハノイ市で8月22日から25日までの4日間にわたって開かれた。参加国は16ヶ国421人が集った。第2回大会としては大成功であったと思う。ただアジアの参加国が、開催国のベトナムを筆頭に日本、韓国、中国、ラオス（Kongresa Libroにはシンガポールとフィリピンも載っている）の4ヶ国だったのは少し残念に思う。

開会式、閉会式、芸術の夕べ、バンケードなどはキッチリと運営されており、立派だったが、他については言うならば運営は得意技ではないようだ。ただこれらに当たった青年男女は本当に一生懸命だったことは間違いない。健気（けなげ）ということばがしっくり当てはまる。大会の主会場はハノイホリゾンホテル。建物はマレーシアとの合併事業で、ホテルはスイスの資本によるとのこと。家具調度も立派で、従業員もなかなか礼儀正しい。返事のあとに「サー」がついたのは、記憶にない程久しぶりのことだった。

テーマ集会や分科会などが4つの会場をフルに使って毎日8～10のdiskutoが行われたが、どれも静かに聞くといった感じで議論白熱といったことはなかった。

ホテル1階の広いロビーは壁側がちょっとしたギャラリー。3人の絵画きさんの個展が開かれ、民芸品やみやげ物、出張郵便局にLibro-Servoも2ヶ所あった。だが、Esperantoの本はほとんどなく、ホーチミン、ハノイ、ベトナムといった観光、歴史物が多く、BALZACやFREUDもあった。「インド50年の経済」（ベトナム語）という不思議な本もあった。

同室のI氏は早朝派で毎朝6時前にはビデオを持って、歩いて30～40分の所にあるホーチミン廟の前にあるバーディン広場まで散歩に出かける。ここには朝早くから市民が大勢集まってエアロビクスをやったり、太極拳をやったりしている。

市内にはそこ、ここに「ビア・ホイ」という生ビールを飲ませる所がある。店は土間で車庫より少し大きめくらい。ビールはジョッキ一杯が20円、とても安いがアルコールが入っているのかと思う程ウスイ。少しいい気分になるには2リットルは必要（約100円）。

食べ物といえば安くてうまいのがフォー（うどん）、キシメンの巾と厚さを半分にした感じ。ポー（牛肉入り）、ヘオ（豚肉）、ガー（鶏肉）の3種を基本に百種以上もあるという話だが、本当の所はわからない。他に生春巻もなかなかおいしい。だが、野菜が少ない。胡瓜とチシャ（萵苣）くらい。しかし、フルーツは豊富。ドリアン、ドラゴンフルーツ、マンゴー、パパイヤ他にもあるが名前を知らない。ただ帰るまでバナナは見かけなかった。

変わったものといえば1kgはあるジャンボちまき、バイン・チュンというのだそうだが、バナナの皮のような物でキッチリ巻いてあり、ふかした時に内部の米から糊がでてシールされ、あのベトナムの炎天下で30日はもつのだという。

街はハノイ（河内）というだけあって、川と湖がいたる所にある。ハノイ駅前には昔フランスの租借地とあって、道路も碁盤の目、洋館が多く立ち並ぶ、今も大使館や裁判所、文化会館に使われている。ホアン・キエム湖をはさんで北側は、「旧市街地」と呼ばれる

職人街、通りごとに同じ店がひしめきあっている。もっとも活気があり、ベトナムらしいたくましさを感じられる。ただどの店も「オツリを下さい」と先に言わなければ釣銭は返ってこない。この地の商習慣なんだそうだ。実は日本へ帰ってから調べたのだが、市販されているベトナム語の会話集にも「釣銭を下さい」と書かれたものはない。

この旧市街の西側がベトナム政治の中核部、ホーチミン廟を中心に広大な公園があり、国会議事堂をはじめ共産党本部、総理府などが点在している。

ベトナムには建材に適した木が少ないとの話だったが、商店、民家共、木材家屋は全くないといっても過言ではない。ほとんどがレンガ造りで表面仕上は漆喰と思われるもので塗り込められている。

市内交通にはバスが走っているとの事だったが、バスはついぞ見かけなかった。歩いているとバイクタクシーの「シクロ」に乗らないかとしつこくせまられた。すでに先客がいることもある。あの小さなバイクに3人は乗せるのだからすごい。

北部の農村の祭で始まったという水上人形劇はまことに見事なものだった。水牛や魚などは本当に生きているのではないかと錯覚するほど、バカ殿人形は志村けんより名演技をする。

ベトナムでのもうひとつの興味はáo dài (着物・長い)。若い女性のは下着が透け透けだが、少しも変な気持はおこらない。本当に清楚な感じがするから不思議、実に美しい。値段はというと、大学生と母親がお揃いで注文、日本円にして5000円だったそう、オーダーメイドである。

最後にベトナム語、10数年前に習ったこともあり、出発前にも少し予習はしていたものの、さっぱり通じない。やっと通じたのは帰国のバスに乗る直前、とにかく声調が合わないのだから仕方がない。こうして暑くて、バイクと人込みの街ハノイの1週間が終った。



Komuna Seminario に参加して Raporto pri KS 18

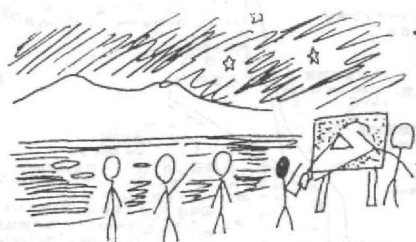
帯広市 真鍋俊行 MANABE Tosiuyuki

7月29日から8月1日まで琵琶湖畔にて第18回日韓中青年エスペラントセミナー(KS 18)が行われた。KSはTEJOの提案で1982年から韓国・日本で交互に開催され95年から中国も加わり三国持ち回りで行われている。私はエスペラントについてはずいぶん以前から知っていたのだが、まじめに取り組み始めたのが今年に入ってからで、そのためこのようなエスペラントの国際行事に参加するのは初めての経験だ。とにかく「エスペラントが一番できないのは自分だ」という覚悟で参加することにした。

初日の夜「Interkona Vespero」でゲームをしながら自己紹介など、少しずつエスペラントを聴く、そして話す状況に慣れてきた。また自分よりKomencantoらしき人もおり、ほっとする?! 2日以降はいくつかのプログラムが平行して行われた。初心者クラス、文法について、ABC de Trumpetoなど、夜は花火、星空観察、最後の夜は各自が出し物を披露するGaja Vesperoなどが行われた。プログラム以外でも何人かが集まり夜通し酒を飲みながら過ごすというのはKSでは毎年見られるようだ。今回のKSの参加者は30人ほどで、過去のKSと比べれば圧倒的に少ない。いったいどうしたのだろう。確かにUKやIJKなどと時期は同じで、そちらへ参加する人もいるのだろうが、KSに対する魅力もうすれているのかもしれない。初心者でも安心して参加できることを宣伝し、海外からももっと参加してもらえるように努力する必要があると思う。

私は今回JEIのRO誌6月号の「エスペラント大会の楽しみ方」を参考に、期間中はノートを持って歩き特に海外から参加していた人にメッセージを書いてもらった。ノートは筆談の時やプログラムの印象をメモした時にも使った。書いていただいたメッセージはいい思い出になるし、後でこのノートを開いたときに楽しいKSの思い出を振り返ることができる。まさにこの「KS日記」は私の宝物になるであろう。

最後に残念だったのは私の性格も災いしてか知り合いはたくさんできたが、親友はできなかったということ。今後いろいろな行事に参加して心から会話できる人を見つけたい。



Une - ĉam gridis nin esplori ŝtelojn,
sed aĉulo, ĉiu lumigas la tabulon,
ofte interrompis tion robante, "Ĉiu
triangulo malpravas!" "Ho, mi trovis
la ŝtelaron de delfeno! Rigardu!" Ĉi
estis aroganta en ebrio. Ĉiu estis mi.

SKIZOJ DE KS18 (K.Y. 8)



La fundo de la lago
swarmis akvoherboj.
Por freŝigi mi naĝis.



Alĝentina grandulo Fernando tute
ne parolas E-n. Mistera hono. Oni
kovris liajn okulojn kaj li serĉis
akvomelonon. Ĉie, batu! La akvomelono
divaste frakasigis!

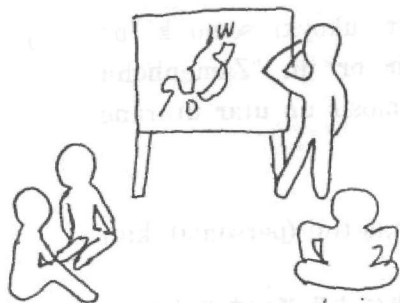
Apud la lago Biwa-ko okazis la 18-a Komuna Seminario (KS18) de la 29-a de julio ĝis la 1-a de aŭgusto. KS komenciĝas laŭ propono el TEJO, ekde 1982, okazadis alterne inter en Koreio kaj Japanio, ekde 1995, Ĉinio aliĝis kaj KS okazas en la tri landoj sinturne. Kvankam mi ekkonis E-n antaŭ tre longe, mia diligentiĝo pri E leviĝis apenaŭ en ĉi jaro, pro tio estis la unua sperto aliĝi al tia internacia evento de E kiel tio. Ĉiŭokaze mi aŭdicis la partoprenon tiel pensante : Tiu, kiu estus la plej nelerta je E tie, estus mi.

En la unua vespero de KS18, dum Interkona Vespero, mi kutimiĝis de tempo al tempo aŭskulti kaj paroli E-n, ekzemple, dum ludo kun sinprezento. Krome trovinte personon pli komencanteman ol mi, mia streĉado degelis?! Depost la dua tago pararele okazis pluraj programeroj. Tage; komencanta kurso, gramatika kunsido, ABC de Trumpeto, k.a. Vespere; fajraĵo, esploro de steloj, kaj laste Gaja Vespero, en kio ĉiu prezentis distraĵojn. Onidire, en ĉiu jaro kelkaj tranoktas trinkante alkoholaĵon cetere de programo. La partoprenantoj de ĉijara KS nombras nur ĉ.30 homojn, kies nombro estas evidente malgranda kompare al la pasintjaraj. Kio kaŭzas? Konsidereble tio okazis en samaj aŭ proksimaj tagoj al UK, IJK, k.a. kaj iuj iris al ili, sed mi dubas, ke allogeco al KS maldensiĝus. Mi opinias, ke estas necese propagandi ke eĉ komencanto povas aliĝi sen timo, kaj estas necese klopodi venigi plue de fremdaj landoj.

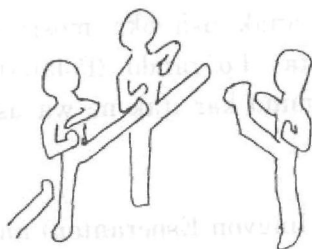
Konsilinte al la artikolo "Ĝumaniero de Esperanta kongreso", kiu troviĝas en Revuo Orienta (junio) eldonita de JEI, mi petis aliĝulojn skribi mesaĝon sur mia kajero portata, precipe alilandanojn, dum tiu KS La kajero ankaŭ utilis por skriba interparolo kaj por noti impresojn pri programo. Mesaĝoj skribitaj fariĝos bonaj memoroj, kaj kiam mi malfermos tiun kajeron, mi povos ĝui la amuzajn memorojn. Nepre tiu "KS-taglibro" fariĝos mia trezoro.

Nur mi bedaŭras, ke kvankam konatoj multiĝis, intiman amikon mi ne gajnis, eble pro mia karaktero. Mi daziras aliĝi al diversaj okazaĵoj kaj trovi tiun, kun kiu mi elkore interparolus.

(trad. red. E 訳:編集部)



La ĉefa temo estas "Interfluo de nuntempaj kulturoj inter 3 landoj", koncerne de la malfermo de japanaj kulturajĵoj en Koreio.



S-ro KIM Chong-Guang instruis Te-kon-do-n.
(Eble tiu ĉi vorto estus erara, ĉar mi nebone memoras.) KIM Chong-Guang estas tre vigla homo, kaj lia E-a nomo estas "Superhomo."



王 鍋 俊 行 さん
de K.Y. (♀)

アイヌ語の新聞<アイヌ・タイムズ>に投稿したエスペラントについての文が第11号(9月20日)に掲載されました。Heroldoの読者の皆様にはエス訳付きでどうぞ。

(<<http://www2u.biglobe.ne.jp/~HEL/AT11-es.htm>>で見ることができます。)

Ainalingva jurnal

Esperanto

エスペラント

Esuperanto (Esperanto)

--- Farita lingvo por posedi la povon interparoladi en la tuta mondo ---

--- 世界中で話せるように作ったことば ---

--- mosir epitta a=ye easkay kunine a=kar itak ---

Bonan Tagon!

こんにちは!

irankarapte!

Mi estas tiu (persono), kiun oni instruas pri la lingvo Esperanto.

私は、エスペラントを学んでいます。

kani anak "Esuperanto (Esperanto)" itak a=epakasnu p ku=ne.

En la jaro 1887, en la lando Pollando, persono, kies nomo estas "Zamenhof", nove faris la lingvon Esperanton por ne-inter-konflikte interparoladi, kaj la lingvo Esperanto estas tiu (lingvo), kiun personoj en tuta mondo uzas.

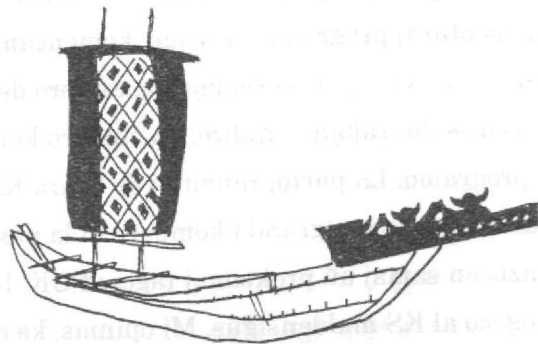
エスペラントは、色々な国の人が、他の国の人と争うことなく話し合いをするように1887年にポーランドのザメンホフが作ったことばで、色々な国の人が、一緒につかうことばです。

"Esuperanto (Esperanto)" itak anak usa oka mosir un utar, ukoyki somo ki no ukoysoytak kunine, 1887 pa ta "Po^rando (Poland)" mosir or un "Zamenhohu (Zamenhof)" sekur re an kur asinno kar itak ne wa usa oka mosir un utar uturano eywanke p ne ruwe ne.

Sed ni (kunuloj, kiuj parolas la lingvon Esperanton) ankaŭ estas tiuj (personoj), kiuj tenas zorgene aliajn lingvojn.

しかし、私たち(エスペラントを話す人たち)は、他の言葉も大事にする者であります。

korka coka (Esuperanto (Esperanto)) itak ye utar) anak oya itak ka eyam pe ci=ne ruwe ne.



Staomacip: Xipo por sur la maro

En "ainu mosir (Hokkajdo)", "Hokkajda Esperanto-Ligo" troviĝas.

北海道には、"北海道-エスペラント-連盟" があります。

aynu mosir or ta "Hokkaido-Esuperanto-Renmei" an ruwe ne.

Ni estas tiuj (personoj), kiuj kunvenas al "Hokkajda Esperanto-Ligo", kaj ni laŭ nia penso, estas bone, ke oni tenas zorgene ainan lingvon.

"北海道-エスペラント-連盟" に所属する我々は、アイヌ語を大切にされた方がよいと思っ
ます。

"Hokkaido-Esuperanto-Renmei" or un iyorot pe ci=ne hine aynu itak a=eyam yak pirka
sekor yaynu=as.

La aina lingvo estas tiu (lingvo), en kiu multe trezoroj troviĝas.

La aina lingvo estas tiu (lingvo), kiun oni ĉiam bezonas.

Mi pensas, ke la aina lingvo estas bona, kaj ke estas bone, ke oni tenas zorgeme la
lingvon.

アイヌ語は、そこに宝がたくさん隠されているものです。

アイヌ語は、常に生きているし、私たちが必要とするものです。

アイヌ語はよい言葉であり、大切にされた方がよいと私は思います。

aynu itak anakne oro ta ikor poronno a=nuyna wa an pe ne.

aynu itak anakne ranma a=eisramne p ne.

aynu itak pirka itak ne wa, a=eyam yak pirka sekor ku=yaynu.

Por tio, ekde nun, ni demandas nin, kion ni povas fari por komprenigi la ainan lingvon
al multaj personoj.

それで、アイヌ語を多くの人に知ってもらうため、これから何ができるかと思っ
ています。

newaanpe kusu te wano makanak iki=an ciki aynu itak inne utar eramuoka nankor ya
sekor yaynu=as.

Iam "ĈIRI Jukie" skribis kamujjukarojn sur la libro, kaj ŝi faris la libron "Ainu
Sin'jooŝuu" per la aina lingvo. Ni faris tion Esperante. Oni diras, ke nomo de ĉi tiu libro
estas "Ainaj Jukaroj."

昔、知里幸恵が、カムイユーカーを書き留めて、アイヌ神謡集を作りました。

私たちもエスペラントで「アイナイ ユカロイ」を作りました。

teeta "TIRI Yukie" anakne kampi ka ta kamuyyukar nuye hine aynu itak ani kampsos
"Ainu Sinyo^sh^u" kar ruwe ne. Esuperanto (Esperanto) ne ci=kar.

tan kampsos rebe anakne "Ainai Yukaroi (Ainaj Jukaroj)" sekor a=ye.

Kunuloj de "Hokkajda Esperanto-Ligo" Esperante skribis "Ainu Sin'jooŝuu", la libron,
kiun "ĈIRI Jukie" faris, por vidigi la ainan lingvon al personoj en la tuta mondo.

北海道エスペラント連盟では、いろいろな国の人にアイヌ語を読んでもらうように、
知里幸恵の書いた本「アイヌ神謡集」をエスペラントで書きました。

"Hokkaido-Esuperanto-Renmei" un utar anakne, usa oka mosir epittano aynu itak

a=nukare kusu, "TIRI Yukie" nuye kampsos "Ainu Sinyo^sh^u" Esuperanto (Esperanto) ani nuye ruwe ne.

La unu kamujjukaro "pon okikirmuj jajejukar 'kutnisa kutunkutun'" troviĝas en ĉi tiu libro "Ainaj Jukaroj". Pri ĉi tiu kamujjukar, prof. "KIRIKAE Hideo", persono, kiu sperte konas la ainan lingvon, skribis klarigeton de gramatiko pri la aina lingvo.

その「アイナイ ユカロイ」の中には、一つのカムィューカラ「ポン オキキリムイ ヤィェユカラ "クツニサ クトクトン"」が入っていて、そのカムィューカラにはアイヌ語を熟知している方（アイヌ語学者）である「切替英雄」氏のアイヌ語文法解説もあります。tan kampsos "Ainai Yugaroi (Ainaj Jukaroj)" oro un sine kamuyyukar "pon okikirmuy yayeyukar 'kutnisa kutunkutun'" an ruwe ne. nea kamuyyukar oro ta aynu itak easkay kur "KIRIKAE Hideo" nispa nuye "aynu itak bunpo^ kaisetu" an ruwe ne.

Ĉi tio ne nur troviĝas sur la libro, kiun ni faris, sed ankaŭ sur interreto.

(<http://www2u.biglobe.ne.jp/~HEL/jp/jukaroj/jukaro-j.htm>)

Ni skribis ĉi tion per la japana lingvo. Sed ni ankaŭ skribis ĝin per la lingvo Esperanto.

(<http://www2u.biglobe.ne.jp/~HEL/jukaroj.htm>)

それは、その本の上だけにあっては、インターネット上にもあります。

(<http://www2u.biglobe.ne.jp/jp/jukaroj/jukaro-j.htm>)

これを、私たちは日本語で書きました。しかし、エスペラント版もあります。

tanpe anak ci=kar kampsos ka ta patek ka somo ne, Inta^netto (Internet) ka ta ka an ruwe ne.

(<http://www2u.biglobe.ne.jp/~HEL/jp/jukaroj/jukaro-j.htm>)

tanpe anak sisam itak ani ci=nuye ruwe ne. korka "Esuperanto (Esperanto)" itak ani ci=nuye ka ki.

Por tio, laŭ mia penso, estas bone, ke multaj personoj porolas kaj skribas per la aina lingvo por multe vidigi kaj aŭdigi la ainan lingvon.

また、私は、アイヌ語を広く知ってもら（たくさん聞いて、見てもらう）ために、色々なことをアイヌ語で表現すべき（話したり、書いたりしたらよい）と思ってます。

orowano aynu itak poronno a=nure wa a=nukare kusu usa okay pe aynu itak ani a=yek ka ki a=nuye ka ki yak pirka kuni ku=ramu.

Kaj mi volas skribi diversajn paperojn per la aina lingvo.

そのため、色々な文書をアイヌ語で書いたり（アイヌ語訳も）したいと思ってます。

kusu usa kampsos aynu itak ani ku=nuye ka ki rusuy.

《 POEMO 詩 》

これで十分 G^uste Sufic^as

ななお さかき Nanao Sakaki

G^uste Sufic^as	ピリカ ケシ	うっさし じゅうぶんやさ
Grundo por piedoj	ケマハ アン トイ	ひさに んーちゃ
Hakilo por mano	ペケ アン ムカル	でーに でーん
Floro por okuloj	シク アン ノンノン	みーに はな
Birdoj por oreloj	キサラ アン チカップ	みみに とうい
Fungo por nazo	エト° アン カルシ	はなに ちぬく
Rin^deto por bus^o	パカ アン エミナ	くちに うすわれぐぁー
Kantoj por pulmoj	ペンラム アン シノッチャ	んたに うた
S^vito por hau~to	カプ アン ポッペ	はだに あし
Vento por menso	ラマッ アン レラ	くくるにかじ

アイヌ語

沖縄語

これで十分



Ilustrita de Nanao Sakaki
絵. ななお さかき

足に土
手に斧
目に花
耳に鳥
鼻に茸
口にほほえみ
胸に歌
肌に汗
心に風

日本語

S-ro Nanao Sakaki estas migranta poeto, al kiu mi konatig^is en mia vojaĝ^o. Mi trovis esperantan poemon en lia poemaro.

Mi prezentas ĝin kun alilingvaj.

Voc^legu, kaj g^uu la ritmon. (KABAYAMA)

ななおさんは、私が旅先で出会った放浪詩人です。
彼の詩集の中にエスペラント詩がありましたので紹介します。
アイヌ語版、沖縄語版もいっしょに、口に出して読んでみて
ください。ゆったりした気分になってきませんか？

(樺山)

Ni voja^gu al Tuvio! Mi pensas, ke preskau~ tutaj ne konas la nomon de Tuvio.

La Tuvia respubliko estas nomo de anta~ua Tannu Tuva, la lando en la suda parto de Siberio sorbita por anta~ua URRS en 1944.

Nun ^gi estas membro de Rusa Federacio kiel Tuvinskaja ASSR.

Tuvio estas en centra parto de Azio, kiu ekzistas norde de Mongolio kun la areo de 171,300 kvadrataj kilometroj, iomete pli grandaj ol Anglio kaj Kimrio. Tuvio situas inter 89 gradoj kaj 100 gradoj de la orienta longitudo, kaj inter 49 kaj 53 gradoj de la norda latitudo.

La lo^gantaro de Tuvio estas 308,000 (64% da tuvoj kaj 32% da rusoj). La ^cefurbo Kijzil, nombroj de lo^gantaro estas 75,000, ekzistas kunfluejo de du riveroj, kiuj fluas al la Rivero Jeniseja.

Tuvio estis konata kun la mongola nomo Urian^haj-o ^gis 1922 kaj oni havas intereson pri la fakto, ke du foje la lando estis aneksita por Rusio dum 30 jaroj sen la monda atento. La unua anekso estis en 1914, kiam Rusio deklaris Tuvion kiel rusa protektata teritorio. Kaj la dua anekso estis en 1944. Kiam la Popola Respubliko de Tuvio transformi^gis al unu unito de USSR.

De 1992, la Tuva Respubliko estas membro de Rusa Federacio, sed la fakto ne signifas grandan pozicion al sendependeco el Rusio. Oni pensas, ke la lando estas unu rusa respubliko, sekve la praktika lingvo en la ^cefurbo kaj aliaj centraj urboj estas la rusa. Sed en vila^goj kaj en neoficiala situacio, la praktika lingvo estas la tuva lingvo.

La tuva lingvo multe koncernas al malnovaj lingvoj (Malnova Oghuz kaj Malnova Ujgur) kaj novaj lingvoj (Karagas kaj Jakut). La tuva lingvo apartenas al la Ujgura grupo de turkaj lingvoj, kiuj formas specialan Malnova Ughuz vicgrupon kun Malnova Oghuz. Malnova Ujgur kaj Karagas.

La etnia formado de tuva popolo estas kompleksa, enhavas kelkaj turkaj grupoj, anka~u mongoloj, Samojed kaj Ket popoloj, asimilataj al elementoj kiuj parolas turkajn lingvojn. La turkaj elementoj estas komunaj al la popoloj de tuva, Altaj, Khakas kaj Karagas.

1 1926-1927 (Mi 1-14)

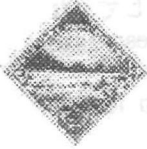


2 1927, 1932 (Mi 15-34)

3 1934 (Mi 41-48)



4 1934 (Mi 49-57)

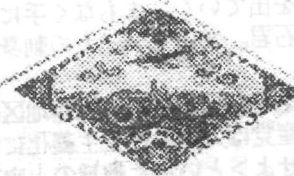
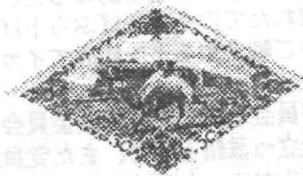


5 1935 (Mi 59-65)



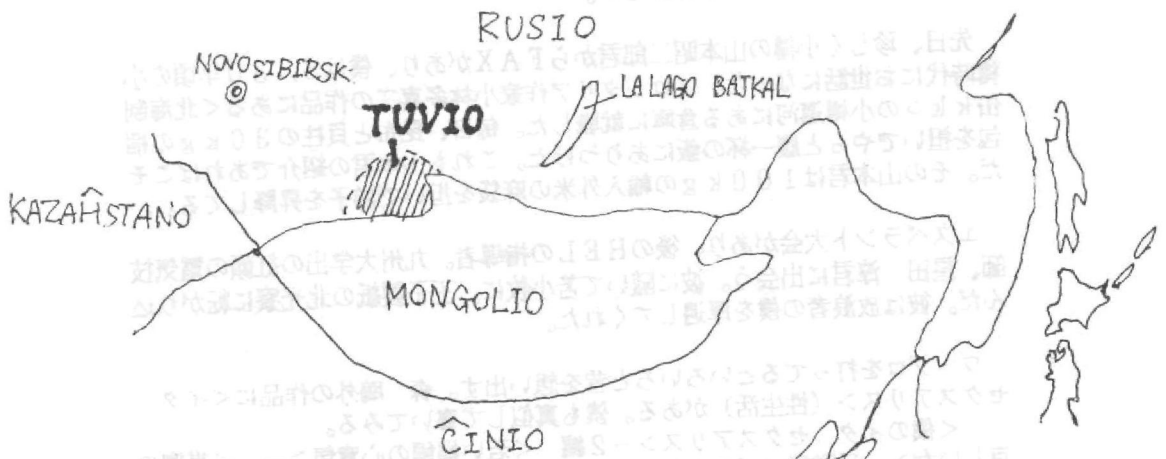
6 1935 (Mi 66-75)

7 1936 (Mi 76-97)



8 1936 (Mi 98-106)

9 1943 (Mi 133-136)



<往復電子メール> 名古屋より函館へ
愛知県 三ツ石 清

岩井正久様

99-07-25 (深夜)
シーラカンス M

啓、
函館には今度、ヘロルド編集長、阿部映子さんが栄転された。司法観察所の課長に。僕はヘロルド寄稿では、随分とお世話になった。よろしくお伝え下さい。

<函館のEsp運動について>

函館は、戦前からEsp-er運動は歴史のある街でした。プロエスの支部もあり、開港場であるので警察の監視もきびしかった。大和庄祐さん、井上さんは2人いて、共に proleta esperanto-unio (jpeu) の同盟員でした。プロエスではないが、中立派の吉田さんも戦前派です(お家の欄にプロエス講座がありました)ここで特記したいことは、昔はプロも中立派もesp-istoとして、なかよくsamidanoとして、ザメンホフの理想の<人類主義>に生きるesp-istoとしての自覚をもって同志的な交際をしていたのです。

友人、先輩の書簡集を整理してから、函館の同志の思い出をHeroldo に書こうと思います。

今、思い出した、井上 一と井上 久のお二人です。私は、吉田さんとこの両井上さんに可愛がって貰った。今、思い出した、samideano には北海道新聞記者の能登さんもいました。敗戦直後、函館山中腹のお家を訪ねると、僕をほっぽらかして家を出ていく。まもなく手に取れたてのイカをばぶら下げて登って来た。<三ツ石君。おいしいイカの刺身をご馳走するよ>初めてイカの珍味を味わう。

敗戦直後、井上 一氏が共産党函館地区委員会を通じて党中央委員会に<エスペラントを共産党は人民の民主主義化に役立つ言語として、また党员教育の一部として採用せよ>といった趣旨の上申書をおくった。これには地区委員会も困まったようだ。昔のesp-istoには、こうしたEsp至上主義者が多い。井上 一さんは教員組合委員長で、久さんは農協の理事でした。吉田さんは銀行員でした。僕が泊めてもらった(25年間に30回ぐらい泊ってもらった)ころは、ガソリンスタンドに勤めていた。週1回、市立図書館でEspの講習をする。これは戦後30年ぐらい続いた。吉田さんが講習生の若い女性と二人で勉強している姿が、僕の目に浮かぶ。

吉田さんは、スキーを担いだ僕をいつも<七飯駅>に送迎してくれた。雪道を二人で歩く。吉田さんが懐かしい。

先日、珍しく小樽の山本昭二郎君からFAXがあり、僕はS、30年頃の小樽時代にお世話になった。プロレタリア作家小林多喜二の作品にある<北海制缶kk>の小樽運河にある倉庫に就職した。毎日、昆布と貝柱の30kgの梱包を担いでやっと腹一杯の飯にありつけた。これも山本君の紹介であればこそだ。その山本君は100kgの輸入外米の麻袋を担いで梯子を昇降してる。。

エスペラント大会があり、後のHELの指導者。九州大学出の紅顔の電気技師、星田 淳君に出会う。彼に随って苦小牧に。王子製紙の北光寮に転がり込んだ。彼は放浪者の僕を厚遇してくれた。

ワープロを打ってるといろいろと昔を思い出す。森 鷗外の作品に<イタセクスアリス>(性生活)がある。僕も真似して書いてみる。

<僕のイタセクスアリス>-2編 <若い娼婦の心意気>-、<帯廣の哀しい女>、兵隊記<パラオ島の心優し慰安婦>の3編を、<朝5時までの徹夜作業を5夜続けて>作品完成。1編だけでもエスペラントで書きたい。

%%%%%%%%%

<北海道放浪の2年間は食うのがやっとなで、別に禁欲主義でもないが、女体には触れたことは、ただの2回だけ。それが小樽で一度、若い女体に触れた。。。。42才の僕は北海道放浪の間、武郎の<愛は惜しみなく奪う>、晶子の<熱き血潮に触れて>、温い白い裸身による<命の洗濯>、ができたのは、帯廣と小樽での唯の2回だけであった。> 略
%%%%%%%%%

僕の初めてのエスペラント小説? <Amindaj amatoraj ŝtelistoj> - 愛すべきアマチュア泥棒連 - はシリーズ物で、小樽港と港横浜の日傭いの港湾仲仕の話です。日本Esp大会、文芸賞(創作部門)第2席の賞金、30000円をくれたが、なぜかJEIは<エスペラント>誌上に、この作品を載せない。是非、載せよと要求するには作品の質が文学的に低いのですが、問題は別のところにあるかも。JEI誌の日本文記事偏重、<エス文は読まれない>との編集者の言がある、そのためでしょうか。

青森県出身、北海道の小学校教師であった向井豊昭(早稲田文学賞作家)君から来信あり <エスペラントの小説はどうなりましたか。期待しています。僕はこれから根室に取材に行きます。。。>
長いお喋りですみません。 シーラカンス Mituisi

函館より名古屋へ

三石さんへ 99-08-02 岩井正久
先日暑中見舞をいただき、家族みんないつも心にかけて頂きうれしく思っています。貴重な勉強になるお手紙ありがとうございます。

略、。。。。。
函館に阿部映子さんが転動してきて、連絡ありました。落ち着いたら、私たちのHakodate-Esperanto-Rondoをいっしょにやっといこうと考えています。97年の函館でのesp合宿以来、sergej(ロシア極東大学副校長)さん、息子さんたちと4,5人で月2回、国際交流プラザでrondoを開いています。

<井上 一さんについて>

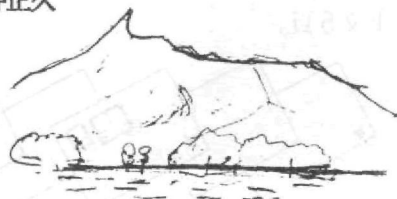
函館の共産党市会議員の井上 一さんはよく知っていました。私が25才ごろ、日ソ協会(日本ユーラシア協会)に入って、ロシア語を学びソ連からのアニメ映画を函館で、組織して、いっしょに取組みをしました。また、平和委員会もいっしょでした。自宅に行ったときesperantoの本があったのを覚えています。もう、何年も前に亡くなりましたが最後まで平和運動の先頭にたって、活動していました。以下。。。。略、。。。。

私は常ひごろ 平和運動は民際交流が一番だともっています。そのために今 esperanto とハンゲル語、韓国民族文化を勉強しています。平和的に共存するために。。。。略、。。。。
三ツ石さん、amindaj amatoraj ŝtelistoj をぜひ読みたいのですが、コピーでも送ってもらえませんか。

前に三ツ石さんから薦められていた、アンデルセン(esp)を、夏休み中に読もうと考えています。

以下 略

岩井正久



*LA TANTAMO: 第304号(1999年7月号)

横浜エスペラント会(JER), A4 X 4頁 (日本語)

この会にも各地のエスペラント会から「北海道から宮崎までの計34誌」が集まるといふ。自分たちの会報と比較しての意見を求めている。北海道でもそうしてくれる人、いませんか。

*Novajoj Tamtamas:n-ro 150, julio 1999, A4 X 4頁、全文エスペラント (JER). "Senlaboruloj lernas por akiri praktikan teknikon" は、失業者増加と職業訓練校についての記事、今の日本の社会紹介。

*Mejlŝtono 1999/4, n-ro 154, 仙台E会: B5 X 8頁のうちエスペラント文4頁。函館のS-ro Sergej ANIKEJEV, 東北の合宿で参加者にいい刺激を与えている。、「ーエスペラントが反射的に出てくるような練習が必要と痛感した(参加記より)」その通り、それは、いい相手と話す経験を積むしかない!

*Hokkaido Romazi Kenkyo No.101 (復刊75) 北海道ローマ字研究会発行, Hs. 11n. 7gt. 20nt.

*2000年版「北海道年鑑」資料提供のお願い 北海道新聞社より団体名簿のため。回答済み。

*Al Vi Kara:N-ro87(1999 jul.), 京都エスペラント会、B5 X23頁のうちエスペラント文6頁弱。"Ĉu asocio, movado, komunumo, civito?" はモンパリエUKでの Humphrey Tonkinの講演の対訳。

*PONTETO 1999年7月号 N-ro 176, 1999年7月: 関東エスペラント連盟:B5X12頁の内エスペラント文6頁。第48回関東エスペラント大会案内付き。

*VERDA MONTETO :Julio, Aŭgusto 1999, 和歌山, N-ro107;変形B5版 X10頁のうちエスペラント文5頁。

*SFERILO:サンフランシスコ周辺地域のエスペラント組織SFERO の連絡誌、変形A4版1枚2頁。

9月例会予告号。発行日付は無い。

*センター通信: 1999年8月30日名古屋エスペラントセンター発行 N-ro211, B5X12頁の内エスペラント文約5頁。

*SFERILO:変形A4版1枚2頁。ESP. 英文混在。10月例会予告号。UC Berkeley の講習会の Informantoは Miko Sloper, Stanfordでのinstruanto は Ed Williger, どちらも最近札幌に来たことある人ですね。

*PONTETO 1999年9月号 N-ro 177, 1999年9月: 関東エスペラント連盟:B5X12頁の内エスペラント文3頁。「秋の合宿のご案内」と AFRIKAJ ESPERANTISTOJ VOLAS KORESPONDI (アフリカの文通希望者43人の adresaro)付。

*スターリン主義に転落した中核派批判: 著者白井朗

*La pontego N-ro 9 1999 septembro: Organo de Kagaŭa Esperanto-Societo;B5 X24頁のうちエスペラント文5頁。

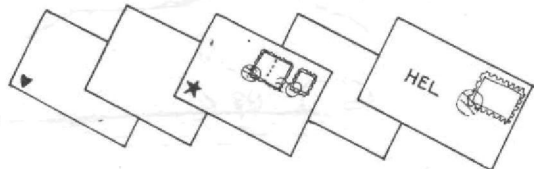
*Eskalo 第81号、1999年9月、川崎エスペラント会、B5 X 6頁のうちエスペラント文1頁。

*NOVA VOJO:1999. 9 (N-ro 344 sept), 大本エスペラント普及会, A5 X32頁、内エスペラント文11頁。

*La Movado N-ro 583 sep. 1999, B5版16頁の内E. 文3頁弱。北海道大会の情報がでている。

*受講生通信 第66号 1999-09-03: 沼津エスペラント会通信講座: B5X 12頁のうちエスペラント文3頁。真鍋俊行さんの元気な手紙が出ているが、(奈良県奈良市) はなぜ?

*La Movado N-ro 583 okt. 1999, B5版16頁の内E. 文3頁弱。アジア大会の記事がトップ。



北海道エスペラント連盟 インターネット ホームページ Hokkajda Esperanto-Ligo TTT-pag^o

更新履歴

- 30 1999.10.9 アイヌ語新聞「アイヌタイムズ」へ記事「エスペラント」を投稿（エスペラント版）
- 29 1999.10.3 第63回北海道エスペラント大会の開催について
- 28 1999.9.26 アイヌ語新聞「アイヌタイムズ」へ記事「エスペラント」を投稿
- 27 1999.9.26 石井栄寿さんのエスペラントページ
- 26 1999.9.4 unicode (utf-8)によるエスペラントのホームページの作り方・使い方
- 25 1999.9.3 unikodo (utf-8)によるホームページの開設
- 24 1999.8.29 敗戦記念日によせて（ミツイシキヨシ氏（ペンネーム：シーラカンス））
- 23 1999.8.21 北海道エスペラント連盟ホームページ（英語版）の開設
- 22 1999.8.19 第63回北海道エスペラント大会の開催について（1999.9.26 消去）



Registro de renovigoj

- 21 1999.10.9 La artikolo "Esperanto" en la aino-lingva jxurnalo "AinuTimes"
- 20 1999.10.3 Raporto pri la 63a Hokkajda Kongreso de Esperanto (Latin3)
- 19 1999.10.3 Raporto pri la 63a Hokkajda Kongreso de Esperanto
- 18 1999.9.4 Farmaniero kaj uzmaniero pri Esperanta hejmpagxo el Unikodo (utf-8)
- 17 1999.9.3 Unikoda (utf-8) hejm-pagxo estas malfermita
- 16 1999.8.21 Angl-lingva versio de nia TTT-pagxo estas malfermita
- 15 1999.8.19 La 63a Hokkajda Kongreso de Esperanto (1999.9.26 forstrekita)
10月9日現在 HEL ホームページへのアクセス数 エスペラント版 725件
日本語版 700件

ホームページのアドレス (URL)

<http://www2u.biglobe.ne.jp/~HEL/index.htm>

HELの電子メールアドレス

hel@mud.biglobe.ne.jp

学力検定試験合格者のお知らせ Aonco pri sukcesinto de la ekzameno de JEI

研究・教育部

S-ro Sato Eij[^]i sukcesis la ekzamenon de tria grado de JEI c[^]e la maja kunlog[^]ado en Otaru.

佐藤英治さんが今年5月16日、小樽の合宿で行われた JEI 学力検定試験 3級に合格しました。



木村喜壬治さんを悼む

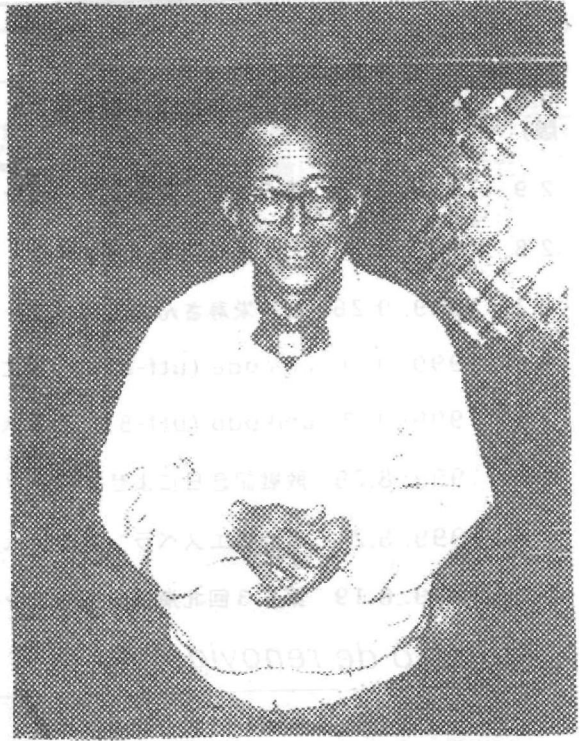
児玉広夫(札幌)

9月21日午前、木村さんが昨夜の11時半過ぎ、NTT病院で亡くなったという突然の知らせが入って来た。病名は心筋梗塞だという。私にとっては、ベルリン世界大会の報告を兼ねてその後の健康お伺いをとを考えていながら、それを果たし得なかったことが悔やまれてならない。振り返ってみて、今から20年以上前になろうか、心臓の病で大きな手術のあと、こうして齢90歳まで天寿を全うできたことは、希有の人とも考えるべきか。

しかし、私のように51年の長きにわたってエスペラントを通してお近づきをいただいた者にとっては、木村さんの長生きの源泉はエスペラントへの変わらぬ情熱と、大手術後正式に入信した大本教への熱い信仰の故ではないかと、思われてならない。

木村さんは、戦前からの熱心なエスペランティストで、1932年(昭和7年)第一回北海道大会の折りには、参加こそできなかったがすでに故郷の黒松内村で学習中だったエスペラントを使って、当大会に参加されたハンガリーのヨセフ・マヨールさん(当時、大本本部の客員講師ともいうべきか?)の道案内役を務めたと聞く。その後札幌へ来てNHK札幌放送局に勤務され、私の知る限りでは、戦後、同放送局総務畑に、帯広支局総務部長を歴任して1965年札幌放送局監査役を最後に退職されている。俱知安中学卒のいわゆるノンキャリア組の木村さんがあそこまで登りつめることができたのは、明晰な頭脳と包容力に加えて、努力の人。そのことに尽きるのではなからうか。

私と木村さんとの最初の出会いは、1948年(昭和23年)10月、私の下宿先のすぐ近くにあったNNKの家族寮を訪ねたときだった。いまだ衣食住に困窮を極めた当時のこと、それでも愛想よく迎え入れてくれて、私に快くエスペラントの吹き込まれたレコード2枚(今では貴



重な秘藏品)を貸与してくださったのだ。一つは、藤沢親雄さんと万沢まきさんとの会話やヨセフ・マヨールさんの演説、他の1枚は、独習書『エスペラント捷径』の著者小坂狷二氏自らそのテキストの一部を模範朗読したもので、戦後まもないエスペラント学習であった私にとっては、この2枚のレコードがどれほど役に立ったか計り知れないものがある。

また、木村さんご自身もレコードに吹き込まれた中味をよく暗記されていて、道大会やザメンホフ祭などの自己紹介の折りに、その一節を朗唱して私たちをすっかり魅了させてくれたものだ。ここに一つのエピソードを紹介しよう。それは、エスペラント誕生百周年を記念して1987年夏ワルシャワで第72回世界大会が開催された折り、木村さんを含め道内から10人以上がこれに参加した。そして大会前夜祭にはSapporoの紋様いり浴衣姿で参加した私たちをいち早く見つけ、話しかけて来

たのが、なんと木村さんにとって50年振りかで再会するヨセフ・マヨールさんとその奥さんであった。それから更に2年後、たまたま北海道大会が北大のクラーク会館で行われたとき、マヨール夫妻が札幌を訪れられ、木村さんのお世話で定山溪温泉でゆっくりと一夜を過ごされ、その時私もご一緒する光栄に浴することができた。お二人の尽きぬ思い出話について例のレコードに及んだとき、記憶が蘇ってきたのか、お二人がそれぞれ、日本の昔話の「桃太郎」や「花咲か爺さん」のエス訃の一節を諳(そらん)じて感激に浸っているではないか。

その時木村さんが80歳、マヨールさんが80歳半ばに届かんばかりのご老体にもかかわらずです。

木村さんの葬儀は、大方の予測どおりすべて大本教の神事に則して行われました。私にとっては初めての体験でしたが、特に神主が神に奏上する祝詞(のりと)の中で述べられている木村さんの在生中のご功績の数々と、ご経歴などはとても分かりやすく、改めて氏の偉大さに感服するばかりでした。そして、エスベ

ランチストとして50年以上も行動を共にしてきた立場から私は臆する事なく次のことを申し上げたいと思う。

1. 氏はザメンホフの思想に最も忠実な使徒であり、La Vojoの詩に指し示されているように、“種蒔く人”であり続けた。

2. 氏は世界連邦運動にも熱心だったのは、ザメンホフ思想と大本教の教条(?)との一致性からくる当然の帰結であろう。

3. 氏が“緑の戦士”として今は亡き相沢治雄さん、新田為男さん、江口音吉さん、高橋要一さんに捧げた短歌を今詠み返して、特に感ずる事だが、氏は未来に希望を失わない真の楽天主義者、浪漫主義者であった。

そして、再び繰り返すようだが、木村さんがここまで長寿できたエネルギーの源は、以上の三点に要約されるのではなからうか。

終わりに、“Dormu pace, Ripozu kviete, Feliĉu kun verdaj batalantoj sub la ĉielo! Dankegon pro vi, adiaŭ!

JELF 会報

より NO102 1999-10-01

Informilo de Japana Esperantista Ligo Fervojoista: Japana filio de IFEF

日本鉄道エスベラント連盟

Aŭtuna Renkontiĝo en Okayama la 11an~12an nov. 1999

秋の会合1999 岡山・遥照山で 11月12~13日

Loko, tempo kaj aliaj:

日時：11月12(金) 午後4:30~13日(土) 午前8:00

宇田さんの都合に合わせました。参加予約受け付け済は信木、深川夫妻、石原、忍岡、計6人です。予約は電話、FAXで信木さんへ11月3日までどうぞ。

場所：岡山県浅口郡鴨方町益坂 遥照山簡易保険保養センター

電話08654-4-3166

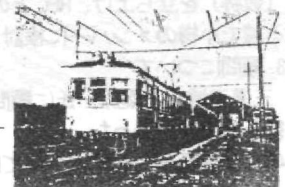
交通：JR山陽線「鴨方駅」下車 バス30分(午後14:17、15:47) 2便のみ タクシー約20分 車で参加する方はお知らせください。

集合：鴨方駅前 12日15:30または保養センターへ

観光：鴨方より福山まで電車で23分、尾道まで40分です。当日相談のうえ「しまなみ海道」または尾道を訪ねてはどうかと思っています。

会費：9500円(飲み物別途)

内容：第2回アジアエスベラント大会(ハノイ) スライド付報告。



第1回委員会報告 Raporto de la 1-a komitata kunveno de HEL

[日時] 1999年9月26日(日)

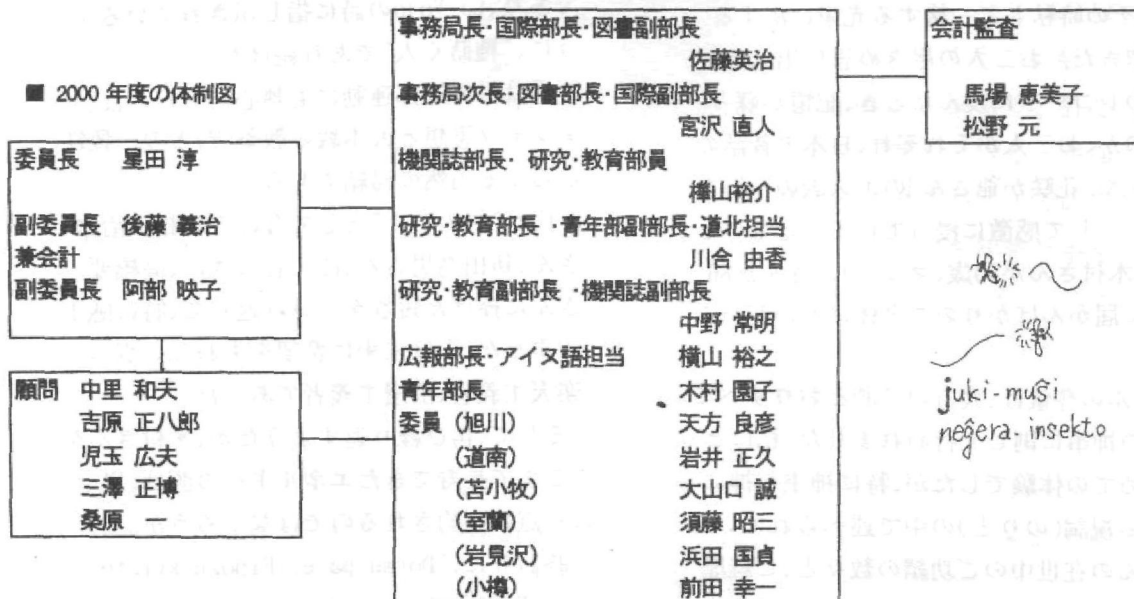
[会場] かでる2-7(札幌市中央区)

[出席者] 星田 淳、後藤義治、佐藤英治、樺山裕介、中野常明、宮沢直人、横山裕之、鈴木佳子(事務局員)、権野正浩(会員)、上西晴生(会員)

[議事内容] 委員会の分担人事

1 大会で連盟員の承認を得た星田淳委員長、後藤義治副委員長兼会計、阿部映子副委員長、及び各委員の担当を次のように決めた。

■ 2000年度の体制図



- 顧問依頼について 星田委員長から三澤正博氏と桑原一氏に依頼することとした。
- 道大会報告について JELへ後藤が、KLEGに星田が報告し、Heroldoには樺山が書くことにした。
- 大会記念出版物について ユーゴ空爆日誌を全対訳でつくる。

第2回委員会報告

Raporto de la 2-a komitata kunveno de HEL

[日時] 10月7日(木) 午後6時~

[会場] ロンデタージョ

[出席者] 星田 淳、後藤義治、佐藤英治、樺山裕介、前田幸一、宮沢直人、鈴木佳子(事務局)、委任状(川合由香)

[議事内容]

- インターネットの現状について
アクセス数 (27頁参照)
- 来年度の小樽での道大会について
9月第2週開催のめどで、前田から会場候補地のいくつかについて説明があった。助成金獲得のために早期に企画内容を練り、年内に小樽市に申請する。テーマについては、「21世紀 国境はなくなるか? エスペラントは国境を越えて・日新時代を考える」といった案が出された。小樽市の姉妹都市であるナトカからエスペラント学生を招待することも考える。小樽エスペラント会(仮称)を立ち上げ、HELとの共催として大会を開催する線で小樽のメンバーに検討してもらうことになった。
- 顧問について
三澤正博氏と桑原一氏に顧問就任をお願いし、内諾を得たと報告があった。
- 大会講師への礼状については、委員長命名で出す。

- 第63回北海道エスペラント大会のまとめ(仮)決算
実参加36人・不在参加11人で計47人が参加。仮決算の報告が後藤よりあり、大会記念品(ユーゴ空爆日誌)発行の支出がこれからで赤字の見込み。
- 極東ロシア・沿海州への北海道住民交流訪問団の準備状況及び議定書(案)について
現在、ビザ申請手続き中。議定書は、総会の結果を受けて、「機関紙発行への資金提供」を削除し、「相互の機関誌から記事の転載の場合、事前の連絡、承認を必要とする」内容を加え承認。
- 委員担当 第1回委員会での分担にいくつかの担当を加えた。(組織図参照)
- 新春講習会について
2月の開催とし、新春講習会に名称変更。札幌で開催。「講師の公募」案を次回委員会までに各委員が検討。
- 5月合宿について
平取町・二風谷での開催を検討。
- 機関紙の編集について
郵送料がいままで以上かかるが、今号を増ページで出すことを最小限の料金増の範囲内において出す条件で承認した。
- 次回委員会日程
11月27日(土) 17:30~ 於 ロンデタージョ

El redakto 編集部から

樺山 裕介 KABAYAMA Yu^suke

☆Kiel vi sentas vidante tiun c^i dikecon? Enhavante artikolojn pri kvar kongresoj, tiu c^i Heroldo devas s^veli kun g^ojo nia. Ne nur pri kvanto sed ankau~ pri kvalito g^i bonig^is lau~ mia penso. Tamen unu el la kau~zoj estas funebra pag^o pri s-ro KIMURA Kimiharu, kiu forpasis antau~ nia kongreso. Verdire mi apenau~ konis lin. Oni sciigis min ke li kreis Heroldon. Mi, nelerta postulo, preg^as por la estimata antau~ulo.

☆Post la kongreso mi farig^is c^efredaktoro kaj s-ro NAKANO Cuneaki farig^is dua redaktoro. Bonvolu akcepti nin.

☆Heroldo havas ne multajn skribitajn per Esperanto. Eble multaj tro hezitis pro timo aperigi sian malkorektan frazon antau~ publiko. Tamen antau~ eldono ni tralegas tutan manuskripton kaj korektas g^in. Tial sendu al ni senhezite vian artikolon esperantan.

☆いかがですか、この分厚い特大号は。4つの大会の記事が重なり、増ページをせざるを得ない嬉しい悲鳴を上げています。厚いだけでなく、読んでみてうならせる内容がそろっていると自負しております。ただし、厚くなった理由の内には木村喜壬治さんが大会直前に亡くなったので、その記事を入れたという悲しい理由も含まれています。私は惜しくも木村さんとほとんど面識がありませんでしたが、先日、Heroldoをはじめに創ったのは木村さんであることを教えてもらいました。拙い後輩として冥福をお祈りいたします。

☆大会後の人事で、私が編集長になり、中野常明さんが副編集長となりました。今後ともよろしくお願ひします。

☆エス文が少なくなりがちなのですが、これは書くなら正しいエス文を書かなければならないと思って二の足を踏むということもあると思います。送られたエス文はチェックして直すべきところは直しておりますので、自分の能力でできる範囲でかまいません、怖れずに送ってください。



Betulo



Berlino
Urbo de anĝelo
(germana kino)

SALONO DE ESPERANTO

では一緒に

エスペラント語を勉強する仲間を募集中。

YAMAYA 011-
連絡先：山谷 711-3985

東区



Heroldo de HEL

第81号 (1999.10.12)

北海道エスペラント連盟機関誌

編集部 〒001-0045

札幌市北区麻生町 1-3-13, 3F

ロンデタージョ TEL 011-717-4189

郵便振替口座

02700-6-17075

北海道エスペラント連盟